
四日市市
サービス提供事業所調査
報告書

令和5年3月

目次

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査の実施について	1
(3) 有効回答件数及び回答率	1
(4) 留意点	1
2. 調査結果	2
問1 貴法人について	2
問2 介護サービスについて	3
問3 日常生活の支援について	10
問4 地域や多職種間での連携について	11
問5 認知症対策について	12
問6 医療との連携、在宅での療養・介護について	14
問7 今後の介護について	16

1. 調査概要

(1) 調査目的

本市では、高齢者福祉の一層の充実と介護保険制度の円滑な実施に向け、高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の見直しを行うにあたり、介護保険事業者の現状等について把握し、今後の四日市市の介護保険事業及び高齢者福祉施策のための基礎的な資料を作成するために実施しました。

(2) 調査の実施について

対象	市内に事業所を持つ介護保険サービス提供事業者(法人)
実施期間	令和4年12月14日(水)～令和4年12月31日(土)
実施方法	WEB調査

(3) 有効回答件数及び回答率

対象数	有効回答数	有効回答率
184件	85件	46.2%

(4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
3. 複数回答の場合、図中にMA (Multiple Answer =いくつでも)、3LA (3 Limited Answer=3つまで)と記載している。また、不明(無回答)はグラフ・表から除いている。
4. クロス集計表において、各項目(表側)における**上位1位**、**上位2位**に色付けをしている。

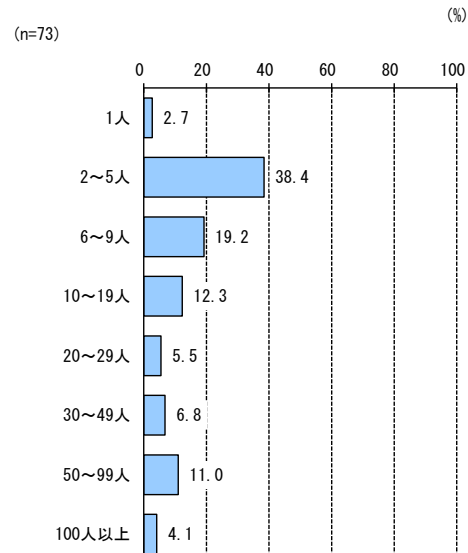
2. 調査結果

問1 貴法人について

●問1-2 貴法人の四日市市内の事業所の職員数は、常勤換算で何人ですか。

○ 事業所の職員数について、「2～5人」が38.4%で最も多く、次いで「6～9人」が19.2%、「10～19人」が12.3%となっています。

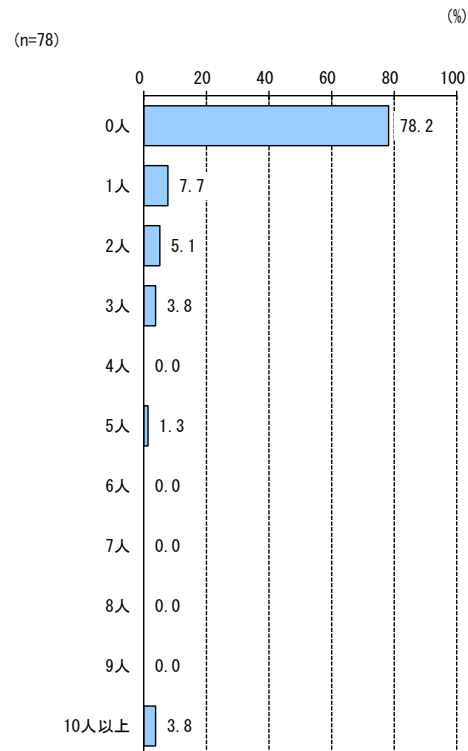
【事業所の職員数】



●問1-3 貴法人の四日市市内の事業所における外国人人材の受け入れ数は、常勤換算で何人ですか。

○ 外国人介護人材の受け入れ数について、「0人」が78.2%で最も多く、次いで「1人」が7.7%、「2人」が5.1%となっています。

【外国人介護人材の受け入れ数】

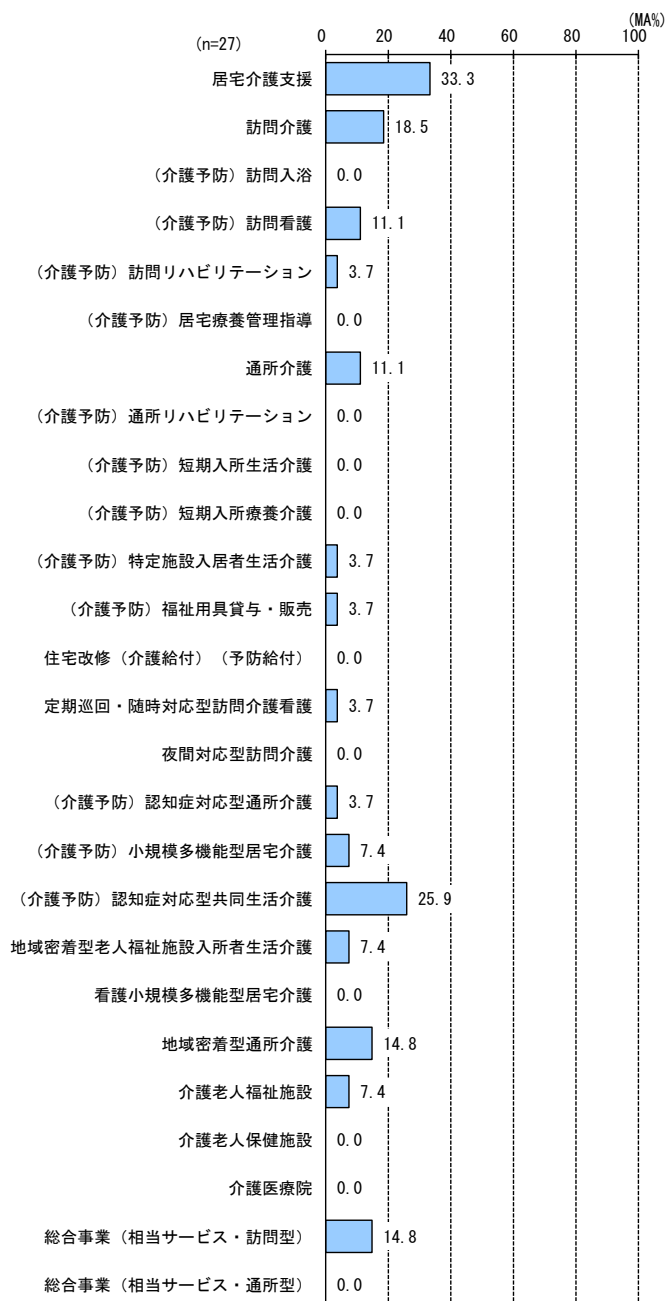


問2 介護サービスについて

- 問2-1 貴法人において、今後3年間に、四日市市内で新規参入したいサービスは何ですか。(当てはまるものすべてに○)

○ 今後3年間に新規参入したいサービスについて、「居宅介護支援」が33.3%で最も多く、次いで「(介護予防) 認知症対応型共同生活介護」が25.9%、「訪問介護」が18.5%となっています。

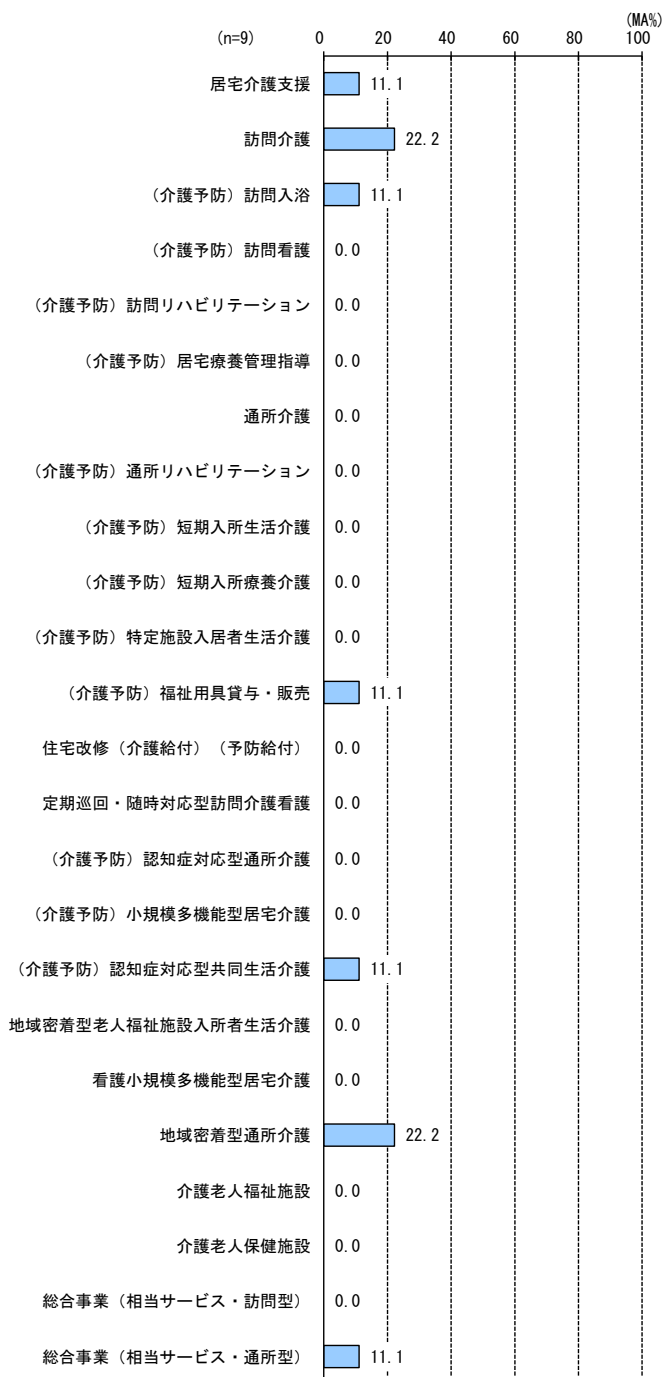
【今後3年間に新規参入したいサービス(MA)】



- 問2-2 貴法人において、今後3年間に、四日市市内で廃止を検討しているサービスはありますか。ある場合は、下記の選択肢の中から選んで下さい。

○ 今後3年間に廃止を検討しているサービスについて、「訪問介護」と「地域密着型通所介護」が22.2%で最も多く、次いで「居宅介護支援」「(介護予防)訪問入浴」などが11.1%となっています。

【今後3年間に廃止を検討しているサービス(MA)】

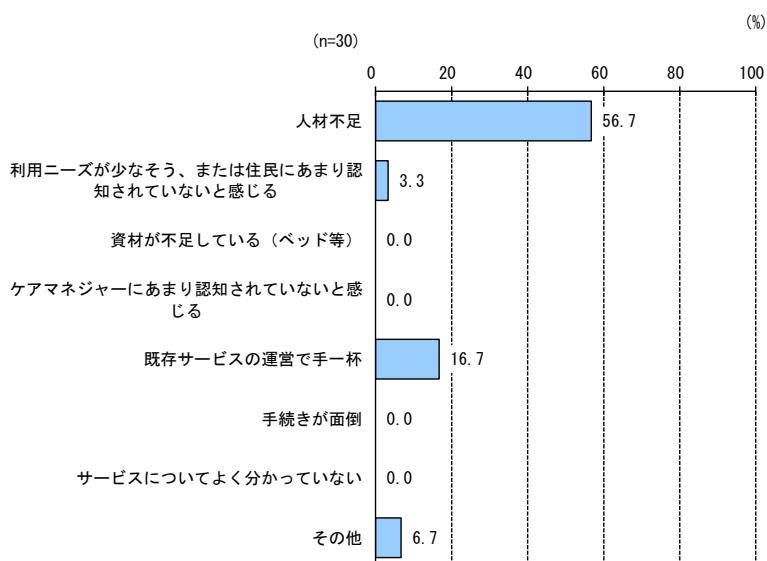


【問2-2で「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「(介護予防)小規模多機能型居宅介護」「看護小規模多機能型居宅介護」を選んでいない人(四日市市内で新規参入したいとは思っていない人)に伺います。】

●問2-3 新規参入する際に、最も課題となっているのは何ですか。(○はひとつ)

○ 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「(介護予防)小規模多機能型居宅介護」「看護小規模多機能型居宅介護」への参入障壁について、「人材不足」が56.7%で最も多く、次いで「既存サービスの運営で手一杯」が16.7%、「利用ニーズが少なそう、または住民にあまり認知されていないと感じる」が3.3%となっています。

【参入障壁となっていること】



- 問2-4 次の介護サービスについて、四日市市内の事業所における運営上の困りごとは何ですか。現在、貴法人でのサービス提供の有無にかかわらず、わかる範囲でお答えください。（当てはまるものすべてに○）

○ 運営上の困りごとについて、「マンパワーが不足している」「報酬が低すぎる」が 64.2%で最も多く、次いで「利用が低調である」が 53.1%、「経費がかかりすぎる」が 48.1%となっています。

【運営上の困りごと (MA)】

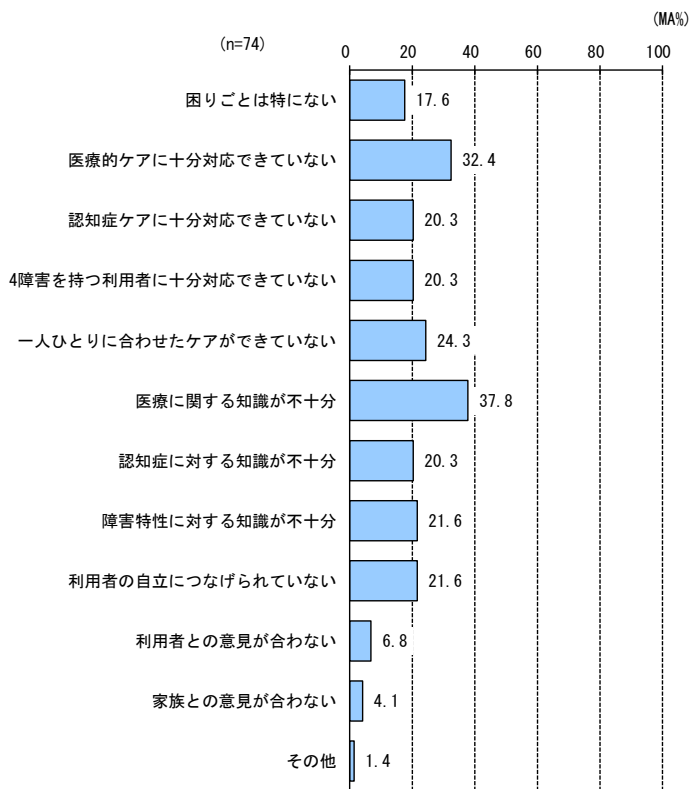
単位：%

	母数 (n)	運営上の困りごと (MA)									
		特 困 に り な い ご と は	で 利 用 が 低 調	が 競 合 事 業 者	い が マ ン パ ワ ー 不 足 し て い る	ぎ 報 酬 が 低 す ぎ る	り 経 費 が か か り す ぎ る	規 制 が 多 い	わ か ら な い	そ の 他	
全体	81	19.8	53.1	44.4	64.2	64.2	48.1	29.6	22.2	14.8	
サ ー ビ ス 種 別	居宅介護支援	61	9.8	6.6	6.6	39.3	49.2	18.0	18.0	6.6	8.2
	訪問介護	43	4.7	11.6	11.6	69.8	37.2	11.6	18.6	7.0	4.7
	(介護予防)訪問入浴介護	28	7.1	17.9	3.6	32.1	10.7	17.9	3.6	32.1	7.1
	(介護予防)訪問看護	30	10.0	3.3	20.0	33.3	10.0	10.0	3.3	30.0	10.0
	(介護予防)訪問リハビリテーション	27	7.4	7.4	-	37.0	3.7	11.1	3.7	37.0	7.4
	(介護予防)居宅療養管理指導	23	17.4	-	4.3	13.0	8.7	4.3	4.3	47.8	13.0
	通所介護	48	6.3	50.0	39.6	47.9	47.9	31.3	14.6	10.4	6.3
	(介護予防)通所リハビリテーション	27	11.1	11.1	11.1	33.3	11.1	11.1	3.7	33.3	3.7
	(介護予防)短期入所生活介護	32	15.6	28.1	12.5	40.6	25.0	12.5	9.4	25.0	6.3
	短期入所療養介護	24	20.8	8.3	-	25.0	8.3	4.2	4.2	45.8	4.2
	(介護予防)特定施設入居者生活介護	24	16.7	8.3	-	25.0	8.3	4.2	8.3	45.8	4.2
	(介護予防)福祉用具貸与・販売	26	19.2	7.7	23.1	11.5	11.5	7.7	11.5	34.6	11.5
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	25	8.0	12.0	-	28.0	8.0	8.0	12.0	40.0	12.0
	(介護予防)認知症対応型通所介護	24	8.3	12.5	-	37.5	8.3	12.5	8.3	37.5	8.3
	(介護予防)小規模多機能型居宅介護	26	11.5	15.4	3.8	42.3	23.1	19.2	3.8	42.3	3.8
	(介護予防)認知症対応型共同生活介護	28	3.6	10.7	10.7	57.1	21.4	25.0	10.7	32.1	3.6
	地域密着型老人福祉施設入所者生活介護	26	11.5	7.7	7.7	42.3	11.5	11.5	-	42.3	3.8
	看護小規模多機能型居宅介護	23	8.7	8.7	-	30.4	8.7	13.0	8.7	43.5	13.0
	地域密着型通所介護	30	16.7	16.7	23.3	33.3	23.3	20.0	6.7	26.7	3.3
	介護老人福祉施設	29	13.8	10.3	31.0	37.9	20.7	20.7	6.9	34.5	3.4
	介護老人保健施設	25	16.0	8.0	20.0	40.0	16.0	16.0	-	36.0	4.0
	総合事業(訪問型サービス)	35	8.6	17.1	5.7	54.3	37.1	8.6	5.7	20.0	-
	総合事業(通所型サービス)	39	7.7	28.2	28.2	51.3	51.3	28.2	12.8	12.8	-

- 問2-5 貴法人がサービスを提供する際の介護技術上の困りごとは何ですか。(当てはまるものすべてに○)

○ サービスを提供する際の介護技術上の困りごとについて、「医療に関する知識が不十分」が37.8%で最も多く、次いで「医療的ケアに十分対応できていない」が32.4%、「一人ひとりに合わせたケアができていない」が24.3%となっています。

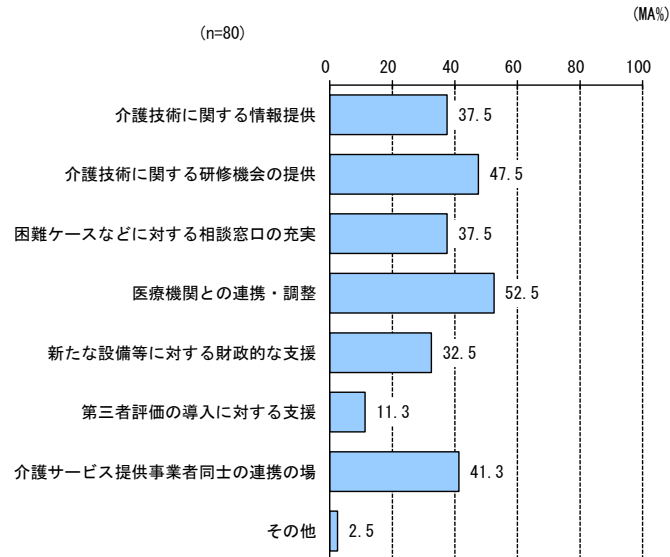
【サービスを提供する際の介護技術上の困りごと (MA)】



●問2-6 サービスの質を高めるため、どのような支援があると良いですか。(当てはまるものすべてに○)

○ サービスの質を高めるために必要な支援について、「医療機関との連携・調整」が52.5%で最も多く、次いで「介護技術に関する研修機会の提供」が47.5%、「介護サービス提供事業者同士の連携の場」が41.3%となっています。

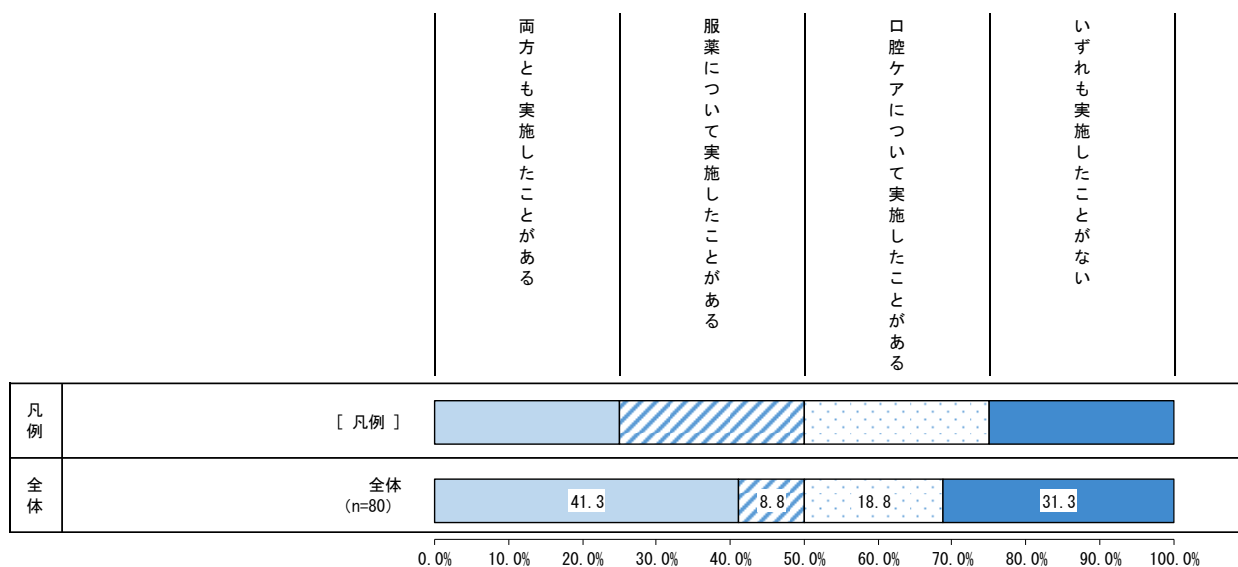
【サービスの質を高めるために必要な支援(MA)】



- 問2-7 貴法人では、職員向けに正しい服薬と口腔ケアに関する研修を実施したことはありますか。(○はひとつ)

○ 正しい服薬と口腔ケアに関する職員向け研修の実施状況について、「両方とも実施したことがある」が 41.3%で最も多く、次いで「いずれも実施したことがない」が 31.3%、「口腔ケアについて実施したことがある」が 18.8%となっています。

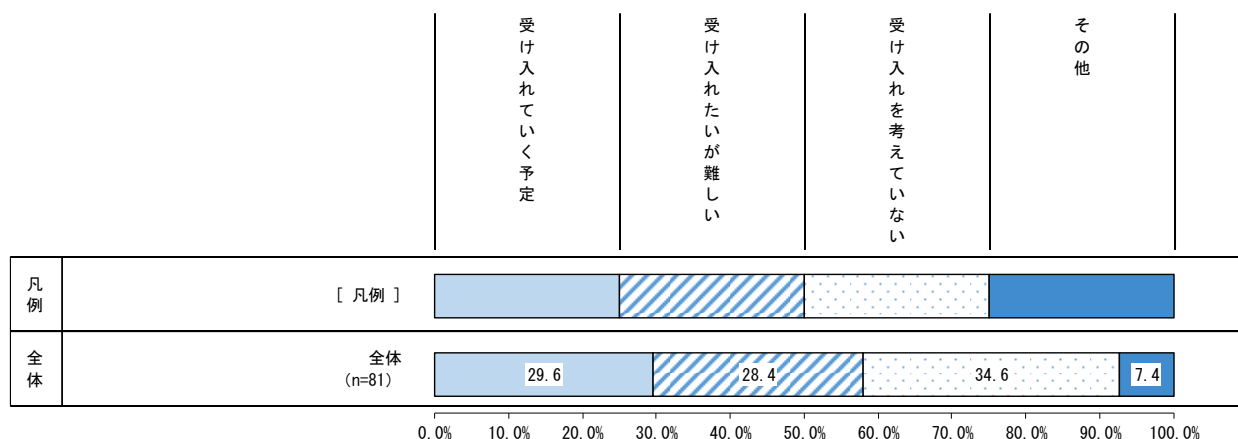
【正しい服薬と口腔ケアに関する職員向け研修の実施状況】



- 問2-8 貴法人では、今後、外国人介護人材を受け入れていきたいとお考えですか。(○はひとつ)

○ 外国人介護人材の受け入れ意向について、「受け入れを考えていない」が 34.6%で最も多く、次いで「受け入れていく予定」が 29.6%、「受け入れたいが難しい」が 28.4%となっています。

【外国人介護人材の受け入れ意向】

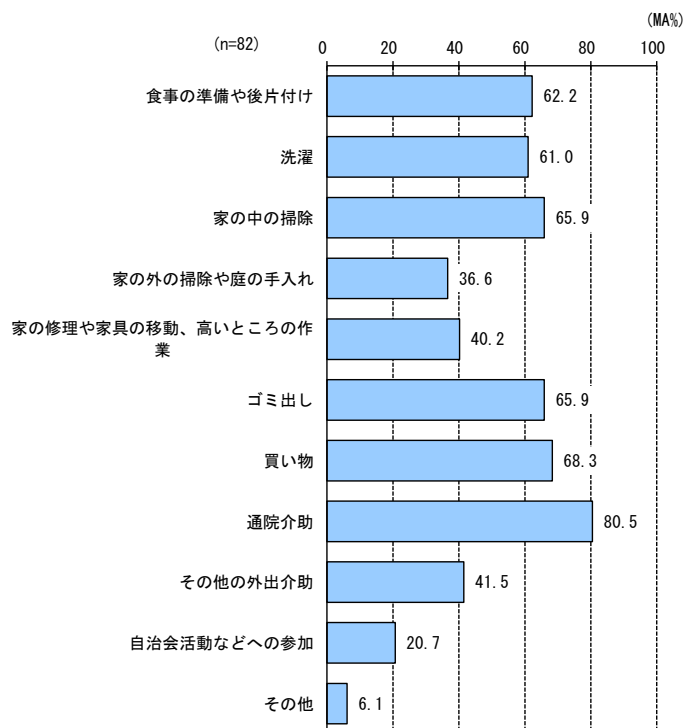


問3 日常生活の支援について

- 問3-1 介護や支援が必要な人の日常生活を支援するためのサービスとして、どのようなことが必要だと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

○ 介護や支援が必要な人の日常生活を支援するために必要なサービスについて、「通院介助」が80.5%で最も多く、次いで「買い物」が68.3%、「家の中の掃除」「ゴミ出し」が65.9%となっています。

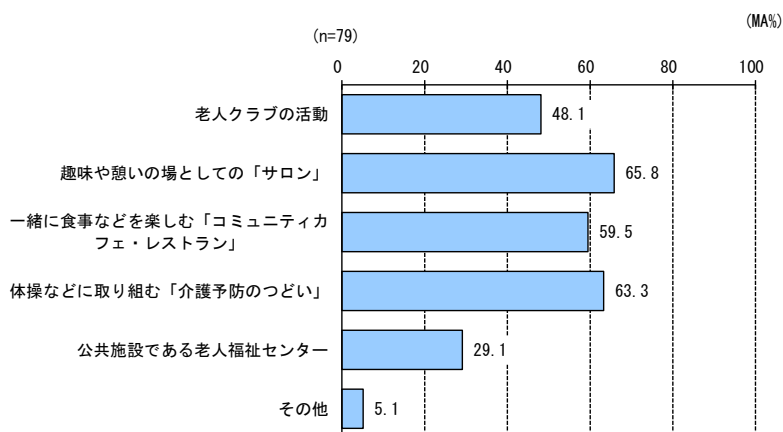
【介護や支援が必要な人の日常生活を支援するために必要なサービス (MA)】



- 問3-2 ふだんの日中、高齢者が集まる場として、どのようなものが必要だと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

○ ふだんの日中必要な高齢者が集まる場について、「趣味や憩いの場としての「サロン」」が65.8%で最も多く、次いで「体操などに取り組む「介護予防のつどい」」が63.3%、「一緒に食事などを楽しむ「コミュニティカフェ・レストラン」」が59.5%となっています。

【ふだんの日中必要な高齢者が集まる場 (MA)】



問4 地域や多職種間での連携について

- 問4-1 貴法人では、四日市市内の各種団体などとのようなかかわりを持っていますか。
(当てはまるものすべてに○)

○ 四日市市内の各種団体などのかかわりについて、「かかわりがない」が 85.0%で最も多く、次いで「面識がある程度」が 81.3%、「事業やサービスへの参加や協力をしている」「ケア会議などで情報共有している」が 50.0%となっています。

【四日市市内の各種団体などのかかわり(MA)】

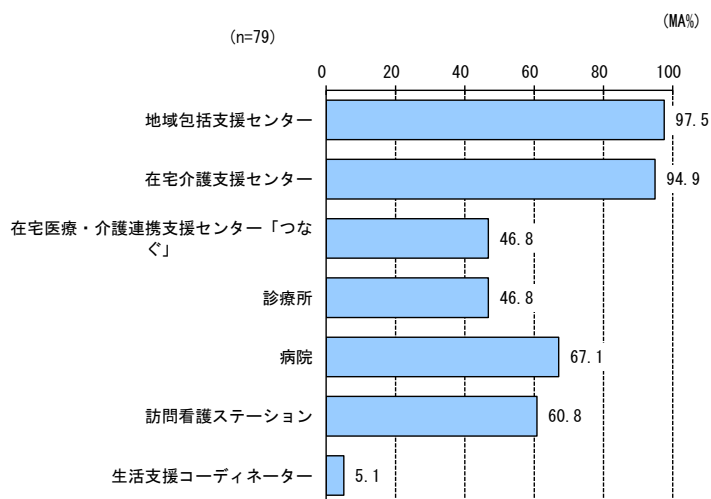
単位：%

		母数 (n)	四日市市内の各種団体などのかかわり(MA)					
			事業 の同 業 で サ ー ビ ス 共 有 し て 実 施 ス	事業 の参 加 や 協 力 ス	ケ ア 会 議 な ど で 共 有 シ テ イ ル	面 識 が あ る 程 度	か か わ り が な い	そ の 他
全体		80	20.0	50.0	50.0	81.3	85.0	33.8
団 体 別	民生委員・児童委員	80	10.0	20.0	33.8	35.0	25.0	5.0
	自治会	80	6.3	22.5	18.8	33.8	36.3	2.5
	老人クラブ	77	1.3	11.7	9.1	14.3	70.1	2.6
	ボランティア団体	79	3.8	20.3	5.1	22.8	51.9	5.1
	社会福祉協議会	77	13.0	32.5	32.5	31.2	14.3	5.2
	地区社協	78	9.0	25.6	21.8	30.8	34.6	1.3
	シルバー人材センター	78	5.1	7.7	3.8	19.2	62.8	5.1
	学校、幼稚園、保育園	78	-	14.1	3.8	16.7	67.9	2.6

- 問4-2 貴法人では、次のような機関等と連携を図ることができていますか。連携できている機関等を選んでください。(当てはまるものすべてに○)

○ 連携できている機関について、「地域包括支援センター」が97.5%で最も多く、次いで「在宅介護支援センター」が94.9%、「病院」が67.1%となっています。

【連携できている機関(MA)】

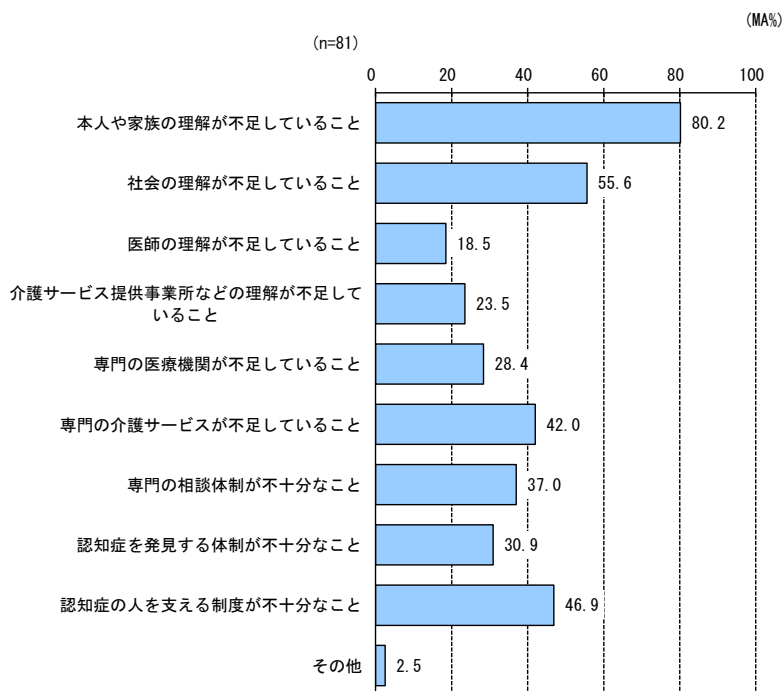


問5 認知症対策について

- 問5-1 認知症対策を充実させていく上での課題は何だと思えますか。(当てはまるものすべてに○)

○ 認知症対策を充実させていく上での課題について、「本人や家族の理解が不足していること」が 80.2%で最も多く、次いで「社会の理解が不足していること」が 55.6%、「認知症の人を支える制度が不十分なこと」が 46.9%となっています。

【認知症対策を充実させていく上での課題(MA)】

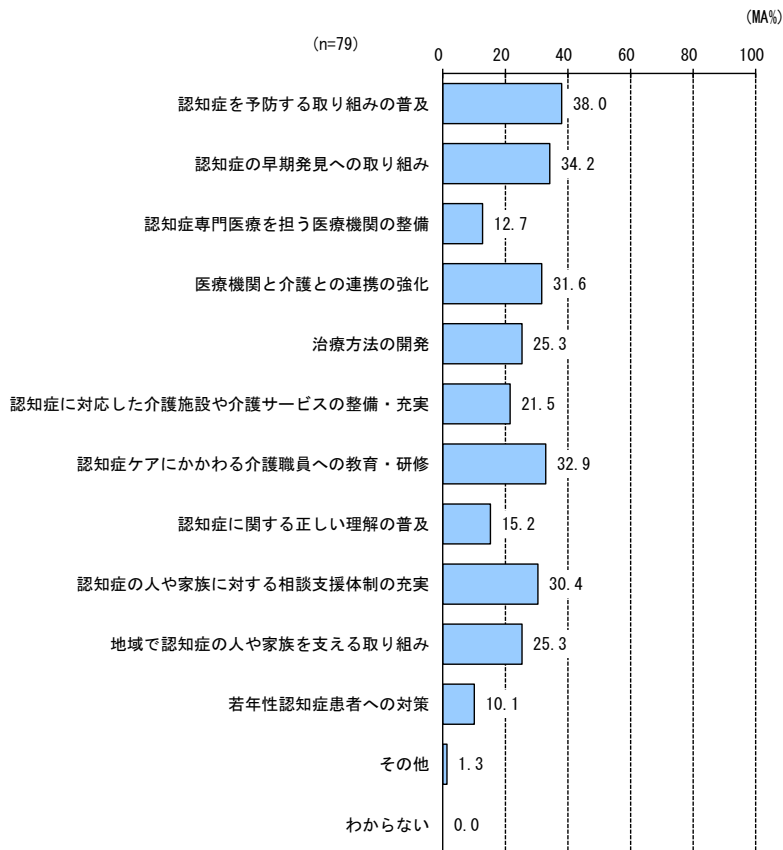


●問5-2 社会において、特に重点を置くべき認知症対策は何だと思いますか。

(〇は3つまで)

○ 社会において特に重点を置くべき認知症対策について、「認知症を予防する取り組みの普及」が 38.0%で最も多く、次いで「認知症の早期発見への取り組み」が 34.2%、「認知症ケアにかかわる介護職員への教育・研修」が 32.9%となっています。

【社会において特に重点を置くべき認知症対策(MA)】

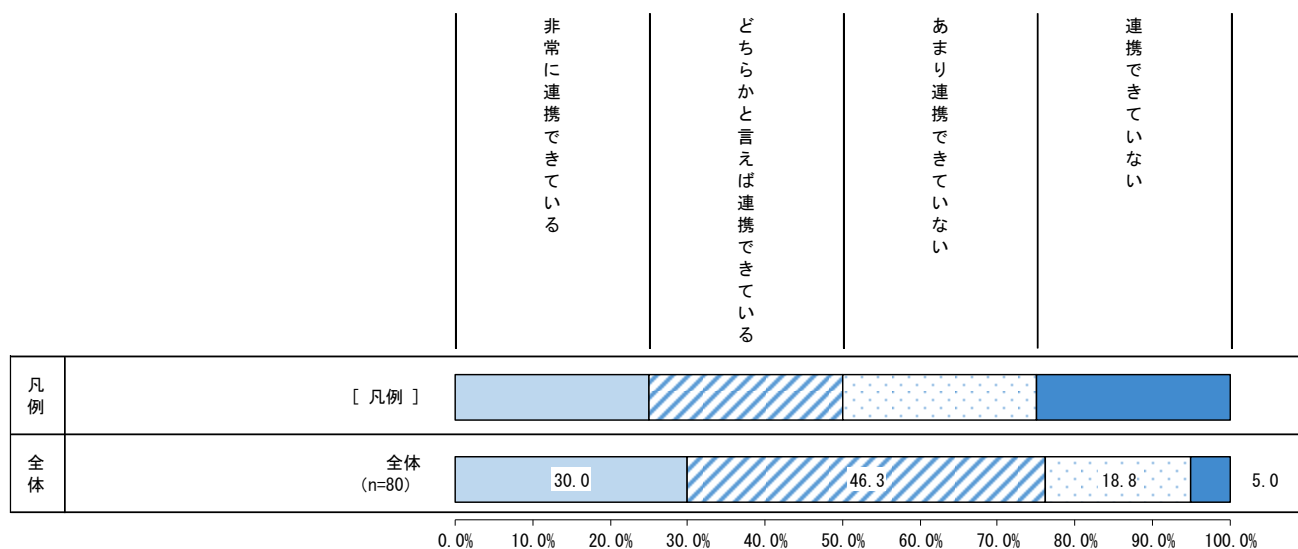


問6 医療との連携、在宅での療養・介護について

- 問6-1 貴法人では、医療職（主治医、病院の地域連携室、訪問看護ステーションなど）との連携はできていますか。（○はひとつ）

○ 医療職との連携状況について、「どちらかと言えば連携できている」が46.3%で最も多く、次いで「非常に連携できている」が30.0%、「あまり連携できていない」が18.8%となっています。

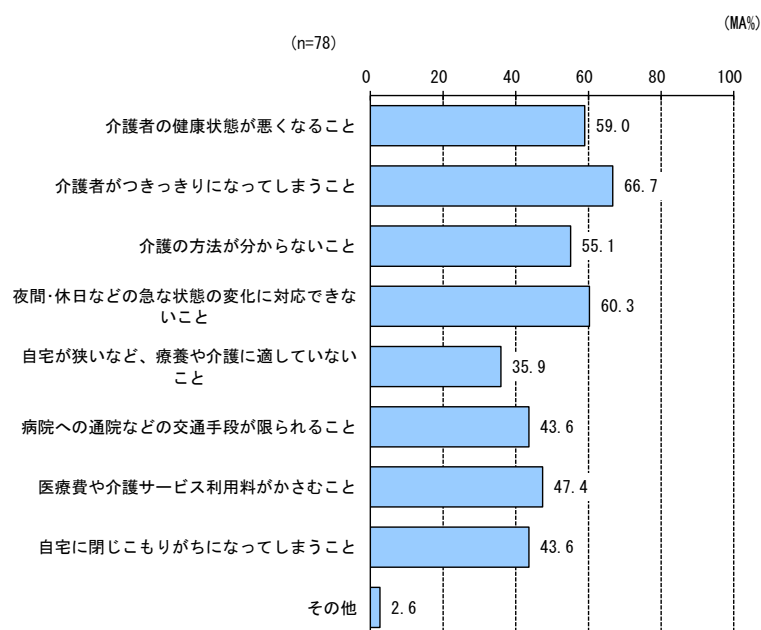
【医療職との連携状況】



- 問6-3 在宅での療養・介護を希望される方は、どのようなことに困っていると思いますか。（当てはまるものすべてに○）

○ 在宅での療養・介護を希望される方が困っていることについて、「介護者がつきっきりになってしまうこと」が66.7%で最も多く、次いで「夜間・休日などの急な状態の変化に対応できないこと」が60.3%、「介護者の健康状態が悪くなること」が59.0%となっています。

【在宅での療養・介護を希望される方が困っていること (MA)】

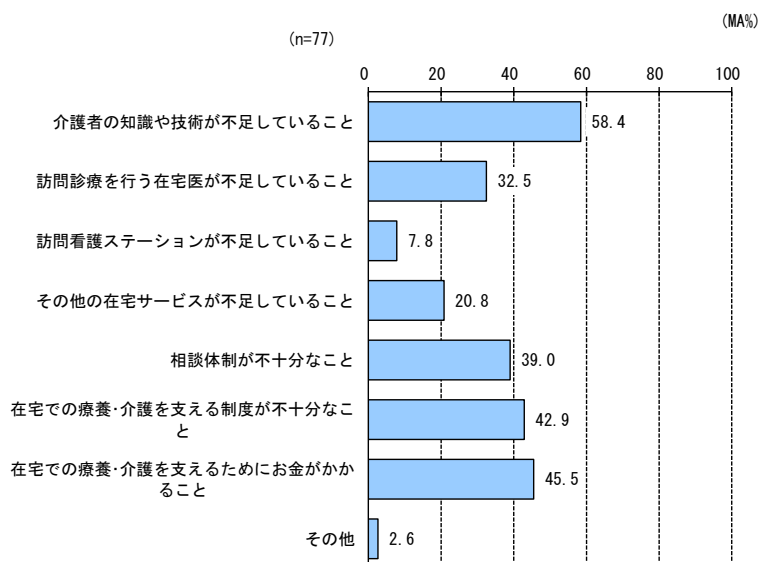


●問6-4 在宅での療養・介護を支援していく上での課題は何だと思いますか。

(当てはまるものすべてに○)

- 在宅での療養・介護を支援していく上での課題について、「介護者の知識や技術が不足していること」が58.4%で最も多く、次いで「在宅での療養・介護を支えるためにお金がかかること」が45.5%、「在宅での療養・介護を支える制度が不十分なこと」が42.9%となっています。

【在宅での療養・介護を支援していく上での課題(MA)】

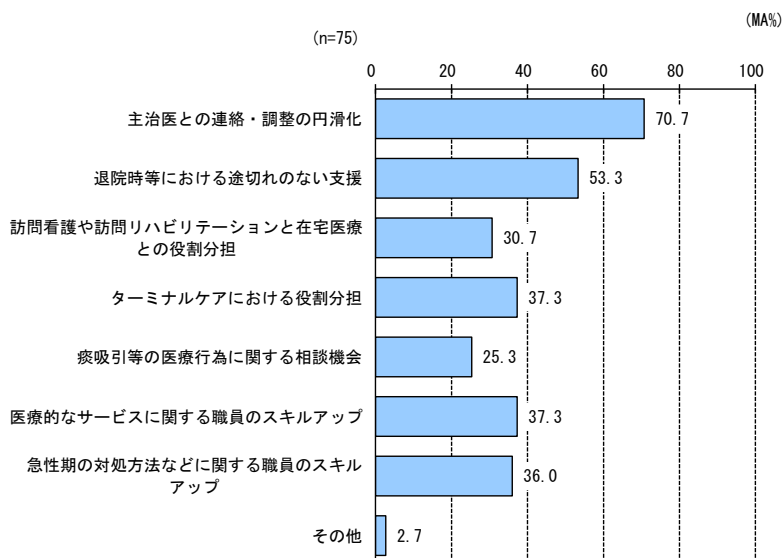


●問6-5 貴法人では、医療にどのようなことを希望されますか。

(当てはまるものすべてに○)

- 医療に希望することについて、「主治医との連絡・調整の円滑化」が70.7%で最も多く、次いで「退院時等における途切れのない支援」が53.3%、「ターミナルケアにおける役割分担」「医療的なサービスに関する職員のスキルアップ」が37.3%となっています。

【医療に希望すること(MA)】



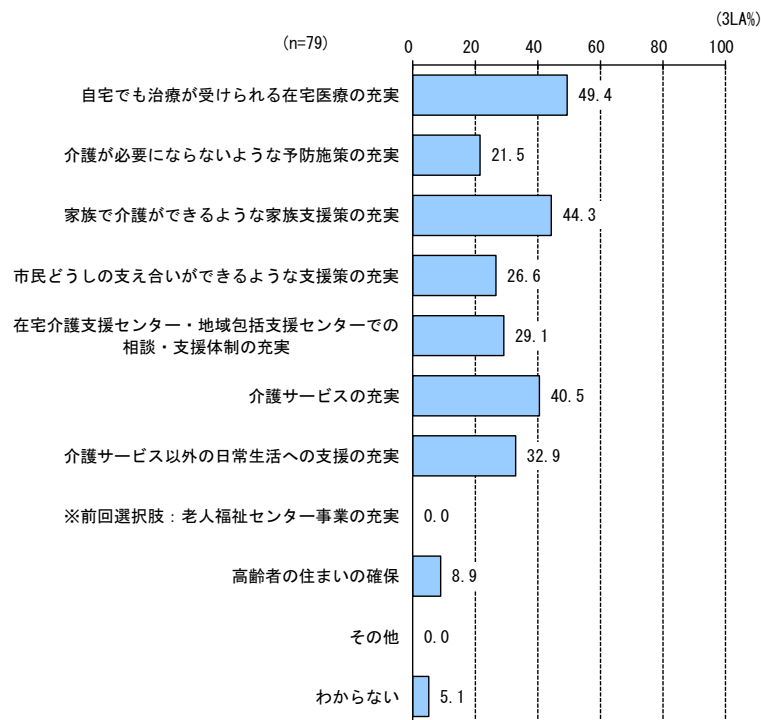
問7 今後の介護について

●問7-1 高齢者への介護体制の充実のため、行政は何をすべきだと思いますか。

(〇は3つまで)

- 高齢者への介護体制の充実のために行政がすべきことについて、「自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実」が49.4%で最も多く、次いで「家族で介護ができるような家族支援策の充実」が44.3%、「介護サービスの充実」が40.5%となっています。

【高齢者への介護体制の充実のために行政がすべきこと(3LA)】



●問7-2 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるようにするため、地域でどのようなことが重要だと思いますか。(〇は3つまで)

○ 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるようにするために地域で重要なことについて、「地域の人びとによる日頃の見守りを充実する」「災害など、緊急時の支え合い体制を充実する」が45.5%で最も多く、次いで「高齢者の移動手段を、住民ボランティア・NPOなどの力を借りて確保する」が40.3%、「ふれあいいきいきサロンなど、近所で気軽に集まれる場を地域の人びとでつくり出す」が37.7%となっています。

【高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるようにするために地域で重要なこと(3LA)】

